

# 笑い声あふれる真夏のビーチ

「サマーフェスティバルinながしま2019」が7月27日と28日の2日間あつま海水浴場で開催されました。27日に納涼大会、28日はブリのつかみ取り大会とビーチバレー大会が行われ、多くの参加者が夏の長島を楽しみました。



①納涼大会の最後を飾った打ち上げ花火②ボンボン釣りを楽しむ親子③迫力のある演奏で会場を沸かした獅子島七郎太鼓④息の合ったパフォーマンスで魅了した子どもたちのダンス⑤定番の歌謡曲などを披露した翠明さんのステージ⑥大物ブリを抱きかかえて喜ぶ子ども⑦スタートの号砲で一斉に海に駆け出す子どもたち⑧暴れるブリに悪戦苦闘⑨ビーチバレー大会優勝チーム「イッシーズ」のメンバー⑩ネット際の攻防は手に汗握る展開

27日の夏祭り納涼大会では、夏の風物詩を楽しもうと約1100人が集まりました。

特設ステージ前の観客席には開演前から多くの参加者が腰を据えて待ちました。「ケ・アロアロ・ケイキ」によるフラダンスで幕開けし、長島町観光協会の波戸正和副会長が「たくさんのかたに来ていただき感謝。最後まで楽しんでください」とあいさつ。獅子島七郎太鼓や子どもたちによるダンス、台湾出身の翠明さんの歌謡ショーなどが披露され、会場は大いに盛り上がりました。

会場には焼き鳥やたこ焼き、くじ引きなどの出店が軒を連ね、子どもから大人まで思い思いに楽しんでいました。

このほか、冷凍庫や扇風機などが当たるお楽しみ抽選会があり、最後は色鮮やかな打ち上げ花火に参加者らは酔いしれました。

28日にはブリのつかみ取り大会とあつまCUP2019ビーチバレー大会がありました。特産品「鯛王」を求めて県内外から224人が参加したブリのつかみ取り大会では、スタートの号砲とともに子どもたちが勢いよく海へ向かって走りまし

た。海に浸かり前のめりの態勢で、素早く動くブリに狙いを定めるも四苦八苦。やっとの思いでつかまえるも腕の中で暴れるブリに子どもたちは懸命な様子でした。保護者らはカメラを片手に、ブリを抱きかかえながら笑顔あふれるわが子を応援していました。

神奈川県川崎市から参加した小学4年生の福岡隆人君は「3回目の参加でブリのつかまえ方も慣れてきた。しっぽを先につかむことがコツ」と満足そうな様子で話しました。

強い日差しが照り付ける砂浜で行われたビーチバレー大会には61チームが出場し、見ごたえのある熱戦が繰り広げられました。

珍プレーには笑いが起こり、好プレーには相手チームからも拍手が送られるなど和やかな雰囲気で大大会は進み、毎試合終了すると両チームの選手が握手でたたえ合い、ノーサイドとなりました。

優勝したイッシーズ（さつま町）の池田龍之介さんは「初出場が優勝できて嬉しい」と喜びました。